

窓の外から見える裏山の紅葉が一段と進み、北陸の冬を感じさせるような気候になってきましたね。先日は、あられ混じりの雨が窓を叩いていました。片山津の美しい秋の景色が楽しめるのももう少しです。

2学期のテストも終わりました。きっと達成感でいっぱいのことと思います。いよいよ令和6年も残すところあと1ヶ月。きたる令和7年のスタートをどんなふうに切りたいですか。



12月予定

4	水	部活動休養日	18	水	部活動休養日
5	木	朝朗読	19	木	短縮4限(45分授業)・通知表渡し①
6	金	JICA 学校視察	20	金	短縮4限(45分授業)・通知表渡し②
7	土	吹奏楽部ソロコンテスト本選会	21	土	男女バレーボール1年生大会
11	水	一斉委員会・部活動休養日	22	日	吹奏楽アンサンブルコンテスト加賀支部大会 吹奏楽部加賀市民音楽会演奏
12	木	朝朗読			
13	金	学校保健委員会(6限)	23	月	短縮4限(45分授業)通知表渡し③ 給食終了
16	月	短縮5限			
17	火	短縮5限	24	火	終業式

※27(金)~1/3(金)は学校閉庁日です。部活動の予定については、各部のおたよりをご覧ください。

言葉の力を正しく使えていますか？

あられや雪がちらつき、いよいよ冬もそこまで来ている。1年生のいる4階は、そんな寒さを吹き飛ばす熱気にあふれています。みんなの元気な声が職員室まで届くこともあるくらいです。そんなみなさんの姿から先生たちもパワーをもらっていますが、一方で、その言葉の使い方が心配になることもあります。

言葉は、自分自身の内側から出てくるものです。他の誰のものでもありません。ですから、その言葉には自分自身が責任を持たなくてはなりません。誰かを傷つけたり不快な思いにしまったりするのも自分の言葉ですが、good behavior cardのように、誰かを温かな気持ちにしたり、幸せにしてくれるのも自分の言葉です。もちろん、それは、口から出るものだけではなく、文字に書いても、態度で表してもそれはれっきとした「言葉」です。

自分自身の「言葉」の力の正しい使い方はできていますか。



SDGsを企業から学ぶ

先日、加賀市の企業3社にお越しいただき、それぞれの企業でのSDGsへの取り組みについてお話をいただきました。SDGsに取り組むことと企業として経済活動を行うことを組み合わせ、地球や自然にも優しい経済活動に取り組んでいらっしゃる企業のお話はとても興味深く、おどろくこともたくさんありましたね。

みなさんの感想の中にも、「企業の経済活動の中からSDGsができるアイデアがすごい!」「片山津中学校の残菜がこんなに多いなんて思わなかった」「自分たちにもできることがあるんじゃないかと思う」というような感想がありました。給食の時間には、さっそく「プチトマト3つ分だけ食べれば残菜が減るのなら、少しだけ食べる!」と頑張ってくれている人もたくさん増えました。企業のみなさんの思いがみなさんに届いたようで、とても嬉しい気持ちになりました。私たちの身近な生活の中で取り組めるSDGsはまだまだありそうですね!

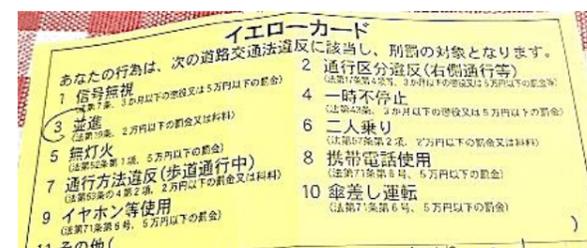


【貴久(マクドナルド)さん】

【なっば会さん】

【岸グリーンサービスさん】

自分の命も相手の命も守る



11月1日より、道路交通法が改正になり、自転車も危険な運転に対して罰則が整備されました。普段、自動車を運転していると、並進をしていたり斜め横断をしたり、ヘルメットを首にかけたままきちんとかぶらずに自転車をこいでいたりする中学生や、傘をさして自転車を運転する人などを見かけます。交差点では、思ってもいない方向からふらっと飛び出してくる自転車にドキッとしたことも何度もあります。

交通ルールは、自分の命だけでなく、自動車などの運転者や歩行者の命を守るためにあります。「自分だけは事故に遭ったりしない」ということは絶対にありません。「ちょっとくらい大丈夫だろう」という気持ちの緩みが大きな事故を生んでしまうこととなります。自分が被害者になっても、加害者になってもたくさんの人が不幸になります。

もう一度、自分自身の自転車の運転について、振り返ってみてください。あなたなら友達が危険な運転をしていたとき、どんな声をかけますか。